

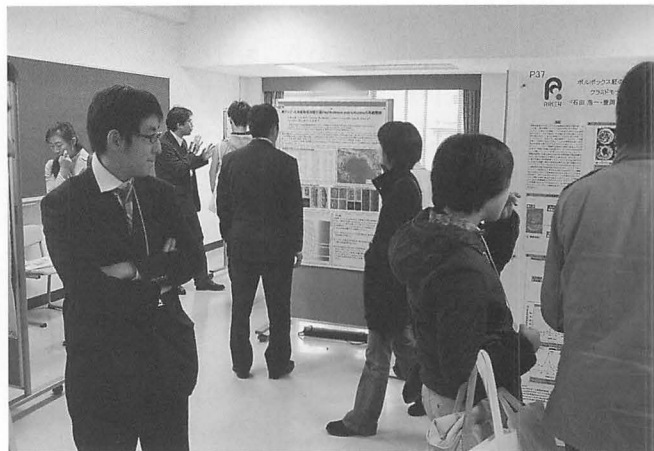
日本藻類学会第 31 回大会開催記・参加記

第 31 回大会準備委員会：第 31 回大会開催報告

2007年3月神戸大学理学部において第31回大会を開催した。本大会は、本来別の地域での開催が予定されていた第19回国際海藻会議（19th International Seaweed Symposium; ISS）が、諸般の情勢から急遽この時期に日本（神戸）で開催されることになったため、これとリンクする形で神戸において開催することになったものである。しかし折り悪く（神戸での開催に対する申し入れをお引き受けした時点では、全く想定していなかったことであるが）、学会執行部も実質的に神戸大学理学部を拠点としていた。そこで、新入の会員にも準備委員としてフルに働いていただくなど、地元会員の総力を挙げた運営となった。

本大会ではこのような事情からなるべく節約的でコンパクトな運営を心がけた。まず大会会場は設営の労力、経費を節約するため、準備委員会の多くの研究室がある理学部の教室を使用し、ポスターパネルを含めほとんどの機材、設備を手近なところから調達（借用）した。理学部の教室は比較的最近新築または改修されたことから、比較的きれいで使い勝手もよいが、理学部は学生定員が少ないため、あまり大きな教室はなく、このため参加者にはかなり窮屈な思いをさせてしまった。しかし、会場のすべての部屋が中庭を通して見渡せたほか、移動が容易であった点は狭い会場の利点であったと思う。

また、大会日程は国際海藻会議との関係で例年よりかなり早くなり、また土日の開催となった。このため、編集委員会・評議員会が卒業式の日程と重なるなどの問題が生じたが、大学以外の組織に属する会員の参加を得やすかったと考えられることと、例年会期が重なってしまうことが多い関連学会（たとえば植物生理学会）の会員にも参加していただけたメリットはあったとおもう。



ポスター発表会場

本大会では、74件の口頭発表、47件のポスター発表があり、若い会員の発表がかなり多かったように思うが、これは単に筆者が年をとっただけかもしれない。本大会のプログラムで特筆すべき点は、会員のレベルアップを目指したワークショップを開催したことである。これは、藻類学会の活性化を目指した若手（中堅？）会員有志の検討の成果でもあるが、和文誌「藻類」に連載されてきた「藻類学最前線」のセミナー版のようなイメージで最新の知見について講義していただくというものである。今回は稲垣祐司会員、坂口美亜子会員、上井進也会員、長井敬会員、田辺雄彦氏、を講師として、2つのワークショップ「最新！分子系統解析法」と「DNAを用いた藻類の集団解析—海藻・アオコ・赤潮研究の最前線」を並行して開催した。その結果、事前予約制とし、また大会最終日の午後であったにもかかわらず、いずれの会場も多くの



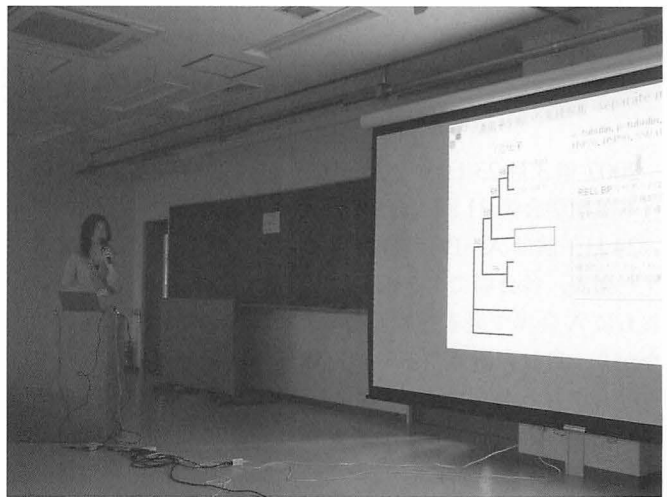
口頭発表会場



総会会場



海外区評議員の Akira F. Peters 博士



ワークショップ「藻類学最前線」

熱心な参加者があり、一部の会員からは「両方とも聞きかかったのに…」とおしかりをいただいたほどである。この企画を進めていただいた世話人の稲垣祐司会員と河地正伸会員に改めて感謝するとともに、是非これからの大会でもこの企画を継続して実施していただきたいと考えている。

もう一つ本大会で特筆すべきことは、この数年をかけて進

めてきた学会のさらなる「国際化*」の成果の一つとして、本年度から学会評議員に海外区が設けられ、記念すべき最初の海外区評議員2名のうちのお一人である Akira F. Peters 博士（フランス・ロスコフ）が評議会・総会も含めて参加されたことである。ちなみに Peters 博士は20年以上前からの会員であり、最初の藻類学会誌の投稿は1986年**であるが、来日はほぼ50年ぶり、とのことであった。

一方、本大会の運営で一番悔やまれることは、懇親会に使える会場の都合から、当日の参加申し込みをお断りせざるを得なかったことである。ご参加いただけなかった会員には心からお詫び申し上げます。

*この学会国際化は他には執行部選挙への投票権の付与、英語版の会員規約作成、ホームページ開設などがある。

**Peters, A. F. & Müller, D. G. 1986. Critical re-examination of sexual reproduction in *Tinocladia crassa*, *Nemacystus decipiens*, and *Sphaerotrichia divaricata* (Phaeophyceae, Chordariales). *Jpn. J. Phycol.* (Sorui) 34: 69–73.

大会準備委員会：川井浩史・洲崎敏伸・三村徹郎・本多大輔・羽生田岳昭・田辺祥子

(文責：川井浩史)



懇親会会場



人気ウェブサイト「藻類講座」

「藻類」の2文字をインターネットの Google や Yahoo で検索すると日本藻類学会ホームページよりも上位に現れる強豪サイト（2007年6月現在）。本会名誉会員吉田忠生先生が監修を担当し、サブタイトルの「日本の藻類学の最新レポートをジャンル別に記載」に違わず、基本的な海藻標本の作り方から藻類に関する最近の話題をとりあげた藻類談話室までありとあらゆるジャンルが網羅されている。「街のペットショップ」なるサイトも持つ株式会社クリップの企画・運営で、こまめな更新が素晴らしい。「町の研究者紹介」がユニーク。
<http://www.net-report.jp/sorui/> (編)

